

結婚や妊娠・出産・子育てをきっかけとした離転職の状況
～インターネット調査「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査」の結果から～

□参考1「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査」について… 2

□参考2 回答者の就業状況(集計対象サンプル分) … 3

□今回の調査結果

I 結婚をきっかけに勤め先を辞めた経験 … 4

- 1 結婚をきっかけに勤め先を辞めた経験の有無
- 2 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由(一般)
- 3 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由(仕事に関連したもの)

II 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた経験 … 7

- 1 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた
経験の有無
- 2 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた時期
- 3 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由(一般)
- 4 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由
(仕事に関連したもの)

III 結婚や妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由 … 11

- 1 結婚の際の就業継続の理由(一般)
- 2 結婚の際の就業継続の理由(仕事に関連したもの)
- 3 妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由(一般)
- 4 妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由(仕事に関連したもの)

□ 参考1

「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査」について

1. 調査の目的

これから結婚、子育てといったライフ・イベントを経験する層及び現在経験している層として、若年～中年層を対象に、それまでの就業状況や就業経験などが能力発揮やライフプランに関する意識に与える影響を把握するとともに、家庭内での役割分担等に対する意識の現状を分析し、今後の施策の参考とする。

2. 調査の概要

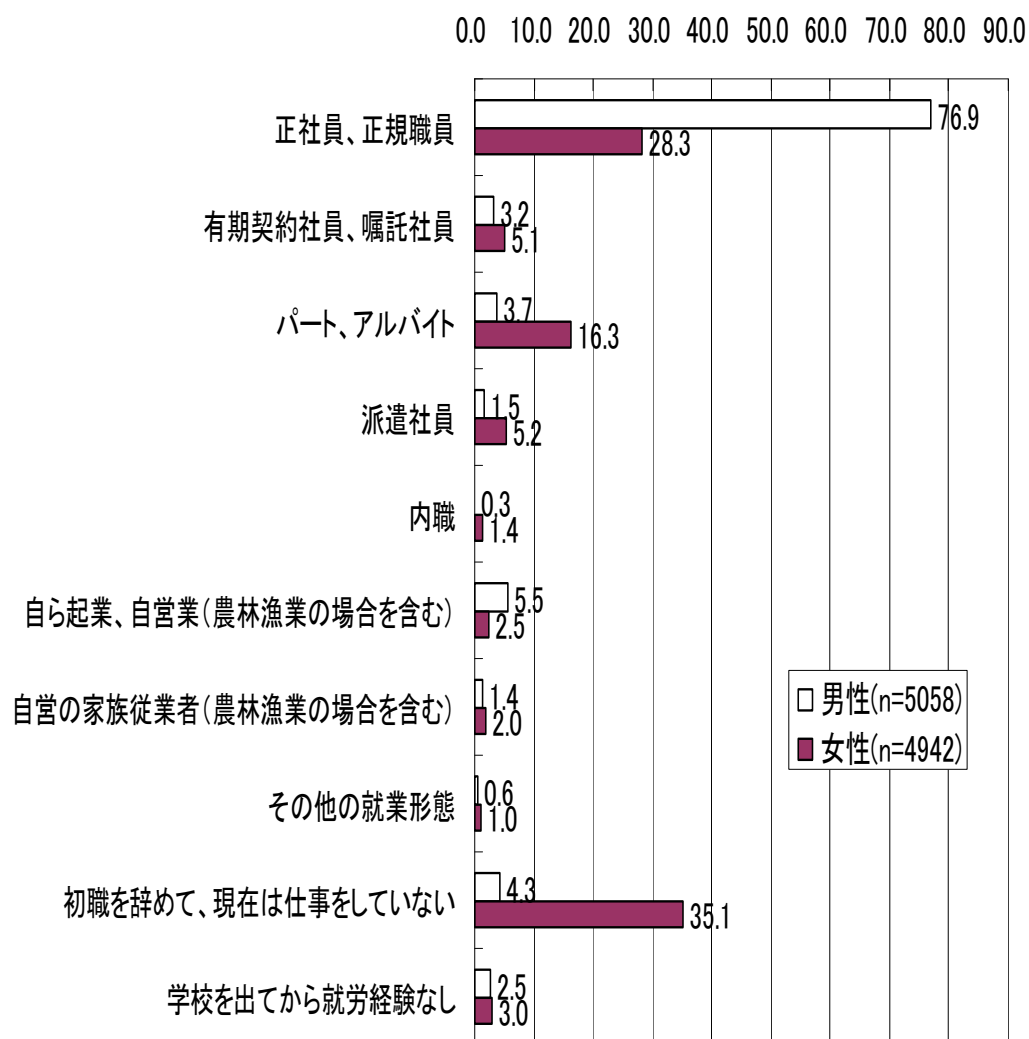
- 調査対象者 全国 20 歳～44 歳の男女
(現在学生でまだ社会人となっていない人を除く。)
- 調査方法 調査会社の登録モニターを対象としたインターネット調査
- 調査時期 平成 21 年 2 月 27 日(金)～平成 21 年 3 月 5 日(木)
- 調査委託機関 株式会社 日経リサーチ
- 調査期間中に回収した計 14,946 件のサンプルのうち、人口構成比で割り付けた 10,000 件を抽出して集計対象とした。(現在、集計・分析作業中)
- 全ての設問を必須入力として実施しており、集計に際して「無回答」とした回答は、データチェックの際の論理エラー処理によるものである。

3. 調査事項

- 基本的な属性
性別／年齢／婚姻状況／世帯構成／教育／収入
- 現在までの就業状況や就業経験
これまで経験してきた就業形態／初職(初めて仕事についてからの5年間で最も長く勤務した勤め先)・現職の状況(就業形態、職種、職場の状況、仕事の内容)／結婚や出産等で仕事を辞めた経験とその理由
- 仕事に関する今後の希望と能力形成の状況
今後希望する働き方／そのために現在していること
- 家庭内での役割分担等に対する意識
女性のライフコースに対する意識／配偶者との役割分担に関する意識と実際
- 生活面に関する意識

□参考2

回答者の就業状況(集計対象サンプル分)



※ 本調査において、「初職」とは、初めて仕事についてからの5年間で最も長く勤務した勤め先を指す。

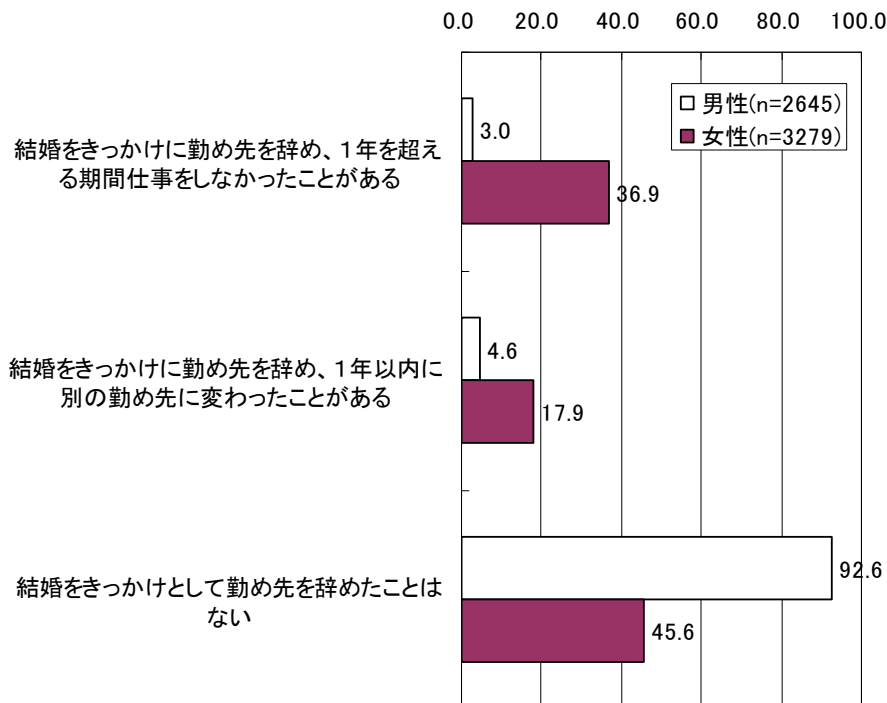
□ 調査結果

I 結婚をきっかけに勤め先を辞めた経験

1 結婚をきっかけに勤め先を辞めた経験の有無

- ・結婚をきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある人は、結婚したことがある女性の36.9%(男性では3.0%)となっている。
- ・結婚をきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先に変わったことがある人は、結婚したことがある女性の17.9%(男性では4.6%)となっている。

○ 結婚をきっかけに勤め先を辞めた経験の有無[複数回答]

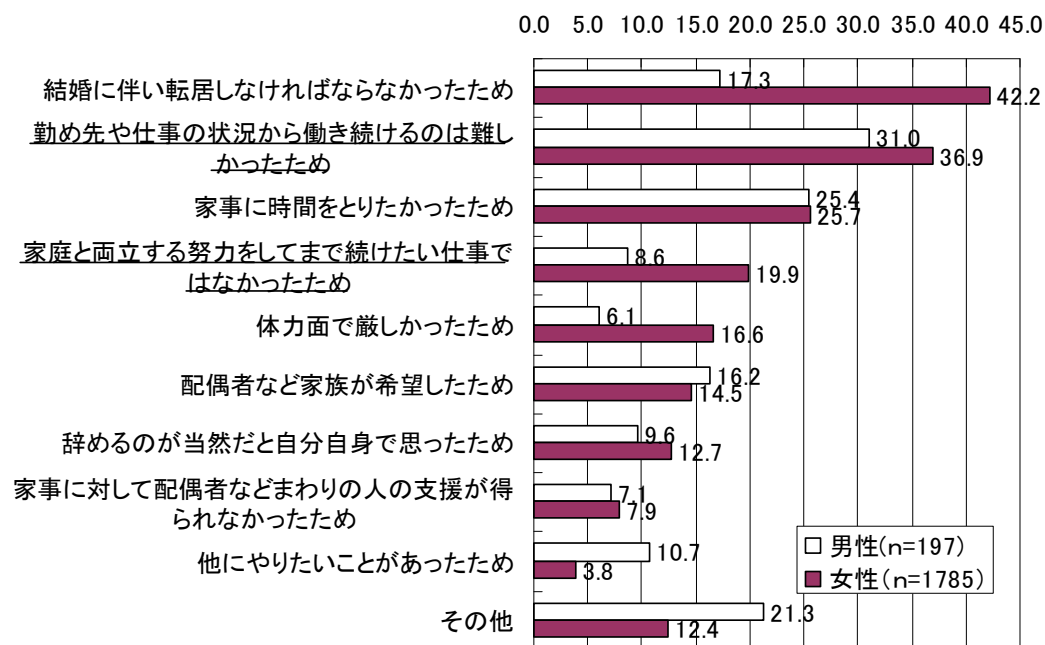


※ 「Q6-2. あなたは、結婚をきっかけに勤め先を辞めたことがありますか。ただし、休職や出向は除きます。勤め先を変った経験の中には、起業・独立したり、自営の方が事業を変った経験を含みます。(MA)」の回答から無回答の人を除いて作成

2 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由(一般)

- 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由を女性についてみると、「結婚に伴い転居しなければならなかったため」が約4割で最も多い。
次いで、「勤め先や仕事の状況から働きつづけるのは難しかったため」、「家事に時間をとりたかったため」、「家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため」となっている。
- 仕事に関する理由(「勤め先や仕事の状況から働きつづけるのは難しかったため」、「家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため」のいずれか)を挙げた人は、結婚をきっかけに勤め先を辞めた女性の約5割(838人・46.9%)となっている。(男性は71人・36.0%)。

○ 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由(一般) [複数回答]



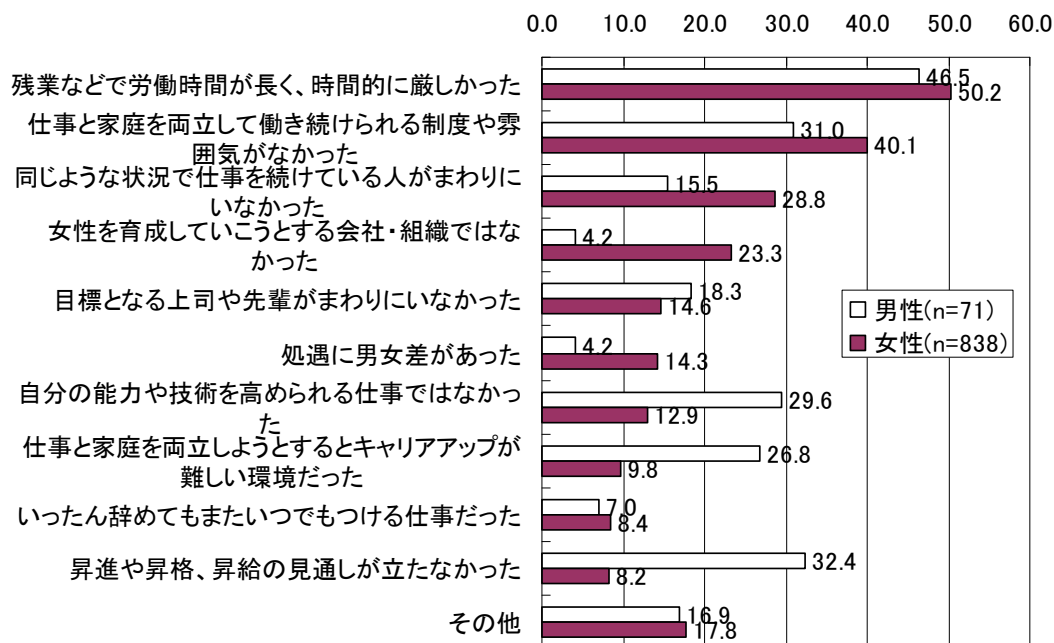
※「Q6-2SQ1. あなたが結婚をきっかけに勤め先を辞めたのはなぜですか。結婚をきっかけに勤め先を辞めたことが複数回ある場合は、最初に辞めたときのことについてお答えください。(MA)」の回答

※ 複数回答のため、下線の選択肢のいずれかを選んだ回答者の人数は、各選択肢を選んだ回答者数の合計とは一致しない。

3 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由(仕事に関連したもの)

- 勤め先や仕事の状況から働きつづけるのは難しい、または家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではない、と思った理由は、男女とも「残業などで労働時間が長く、時間的に厳しかった」が最も多く、約5割に達している。
- 女性についてみると、次に「仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気になかった」が約4割となっている。
一方で、約3割が「同じような状況で仕事を続けている人がまわりにいなかった」、約2割が「女性を育成していこうとする会社・組織ではなかった」を挙げている。

○ 結婚をきっかけに勤め先を辞めた理由(仕事に関連したもの) [複数回答]



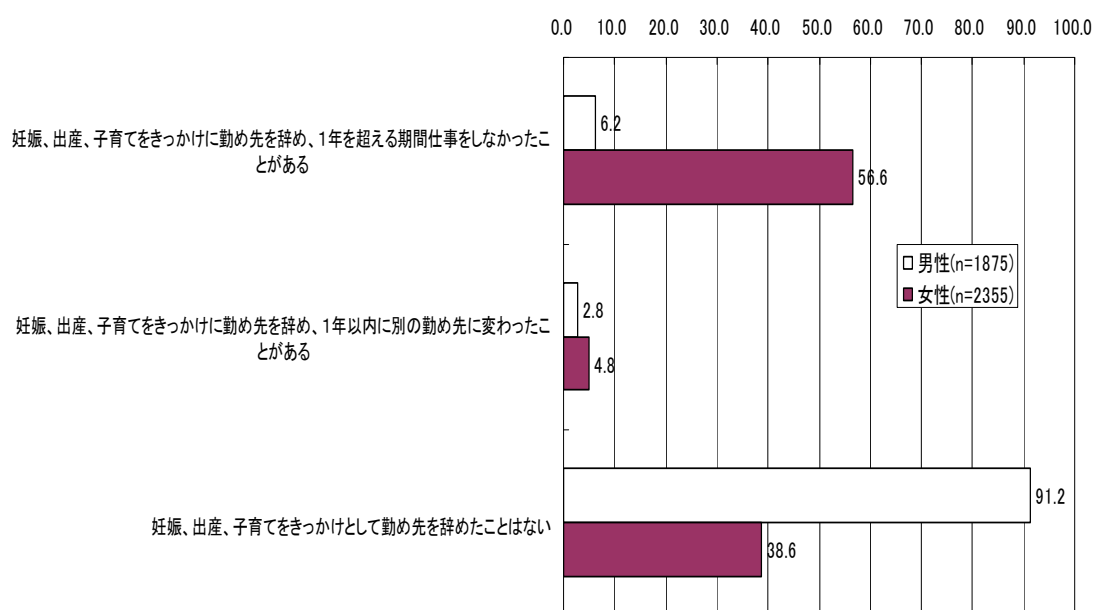
※ 「Q6-2SQ2. 勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しい、または、家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではないと思ったのはなぜですか。(MA)」の回答

Ⅱ 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた経験

1 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた経験の有無

- ・妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある人は、子どものいる女性の56.6%(男性では6.2%)となっている。
- ・妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先に変ったことがある人は、子どものいる女性の4.8%(男性では2.8%)となっている。

○ 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた経験の有無[複数回答]

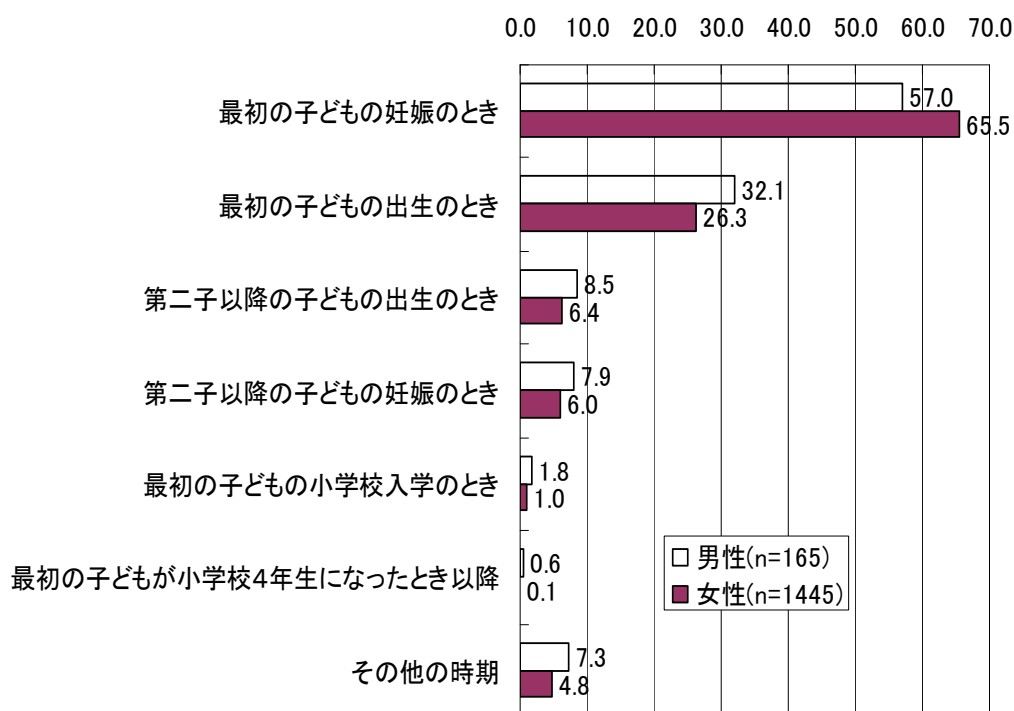


※ 「Q6-5. あなた自身または配偶者の妊娠、出産、子育てのいずれかをきっかけに、あなたが勤め先を辞めたことがありますか。ただし、育児休業等による休職や出向は除きます。勤め先を変った経験の中には、起業・独立したり、自営の方が事業を変った経験を含みます。(MA)」の回答から無回答の人を除いて作成

2 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた時期

妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた時期については、男女とも、「最初の子どもの妊娠のとき」が最も多く、次に「最初の子どもの出生のとき」となっている。

○ 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた時期[複数回答]

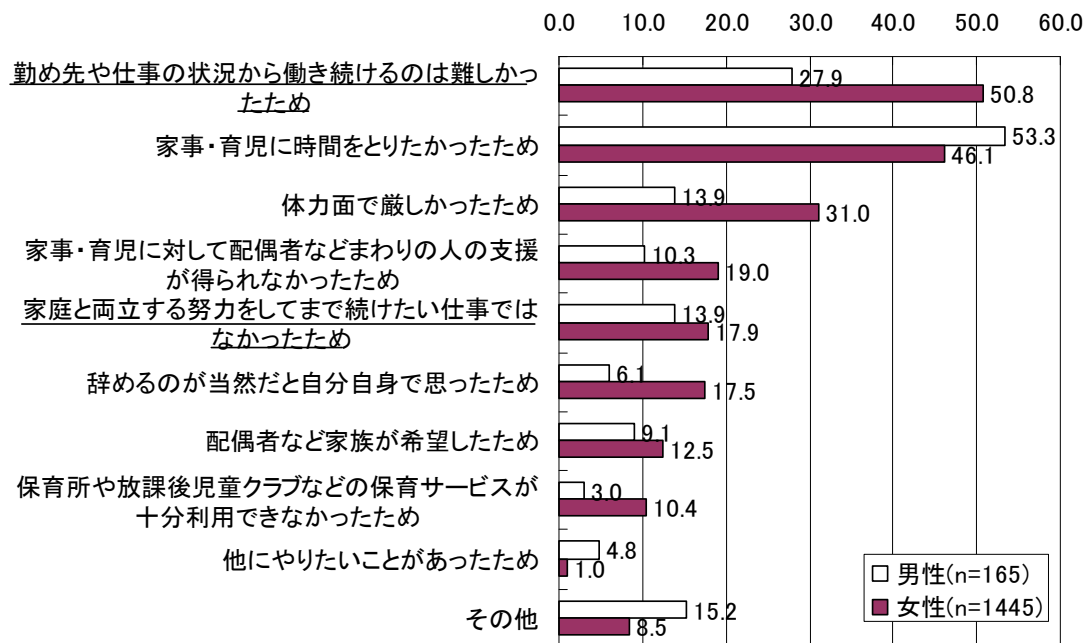


※「Q6-5SQ1. あなた自身または配偶者の妊娠、出産、子育てのいずれかをきっかけに、あなたが勤め先を辞めた時期はいつですか。妊娠、出産、子育てのいずれかをきっかけに辞めたことが複数回ある場合は、そのすべてについてお答えください。(MA)」の回答

3 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由(一般)

- 女性について、妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由をみると、「勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったため」が約5割で最も多い。
次いで、「家事・育児に時間をとりたかったため」、「体力面で厳しかったため」となっている。
- 仕事に関する理由(「勤め先や仕事の状況から働きつづけるのは難しかったため」、「家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため」のいずれか)を挙げた人は、妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた女性の約6割(847人・58.6%)となっている。(男性では63人・38.2%)

○ 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由(一般) [複数回答]



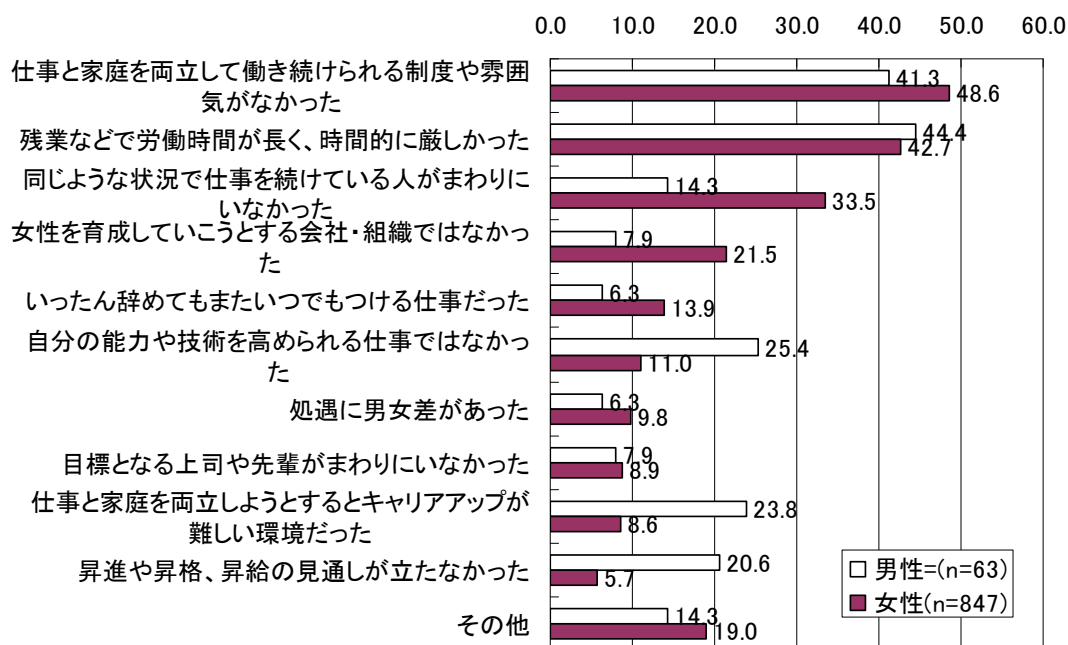
※ 「Q6-5SQ2. あなた自身または配偶者の妊娠、出産、子育てをきっかけに、あなたが勤め先を辞めたのはなぜですか。妊娠、出産、子育てをきっかけに辞めたことが複数回ある場合は、最初に辞めた経験についてお答えください。(MA)」の回答

※ 複数回答のため、下線の選択肢のいずれかを選んだ回答者の人数は、各選択肢を選んだ回答者数の合計とは一致しない。

4 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由 (仕事に関連したもの)

- 勤め先や仕事の状況から働きつづけるのは難しい、または、家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではない、と思った理由は、女性では、「仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気になかった」が約5割と最も多く、次いで「残業などで労働時間が長く、時間的に厳しかった」となっている。
- 一方で、「同じような状況で仕事を続けている人がまわりにいなかった」が約3割、「女性を育成していこうとする会社・組織ではなかった」が約2割となっている。

○ 妊娠・出産・子育てをきっかけに勤め先を辞めた理由(仕事に関連したもの) [複数回答]



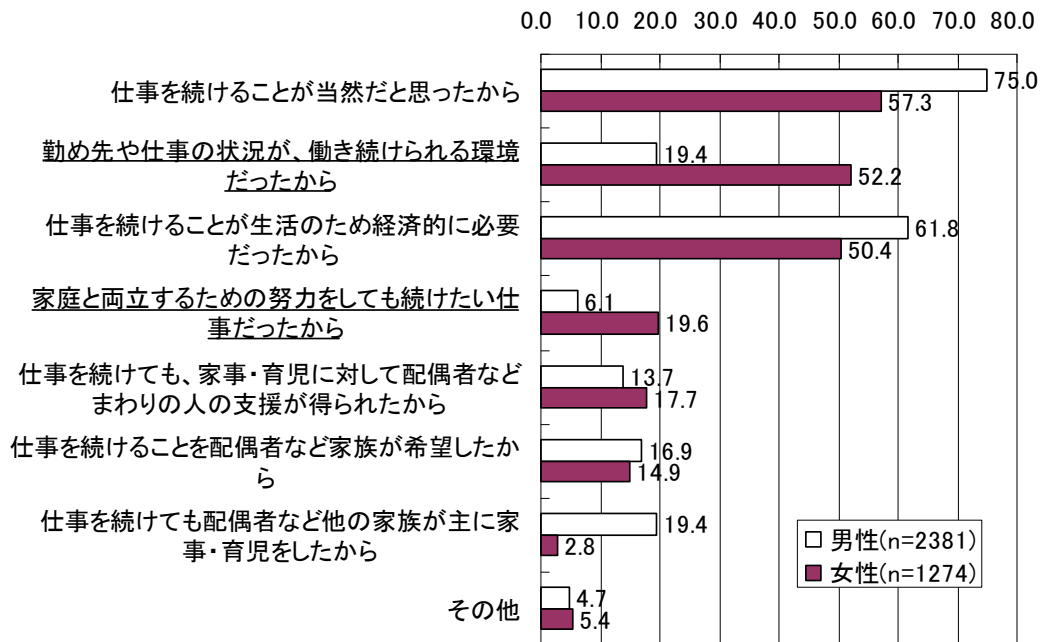
※「Q6-5SQ3. 勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しい、あるいは、家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではないと思ったのはなぜですか。(MA)」の回答

Ⅲ 結婚や妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由

1 結婚の際の就業継続の理由(一般)

- 結婚の際に勤め先を辞めなかった理由としては、男女ともに、「仕事を続けることが当然だと思ったから」が最も多い。
- 女性についてみると、次いで、「勤め先や仕事の状況が働き続けられる環境だったから」「仕事を続けることが生活のため経済的に必要だったから」となっている。
- 仕事の状況に関する理由(「勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境だったから」、「家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事だったから」のいずれか)を挙げた人は、女性で 751 人・58.9%(男性は 500 人・21.0%)となっている。

○ 結婚の際の就業継続の理由(一般) [複数回答]



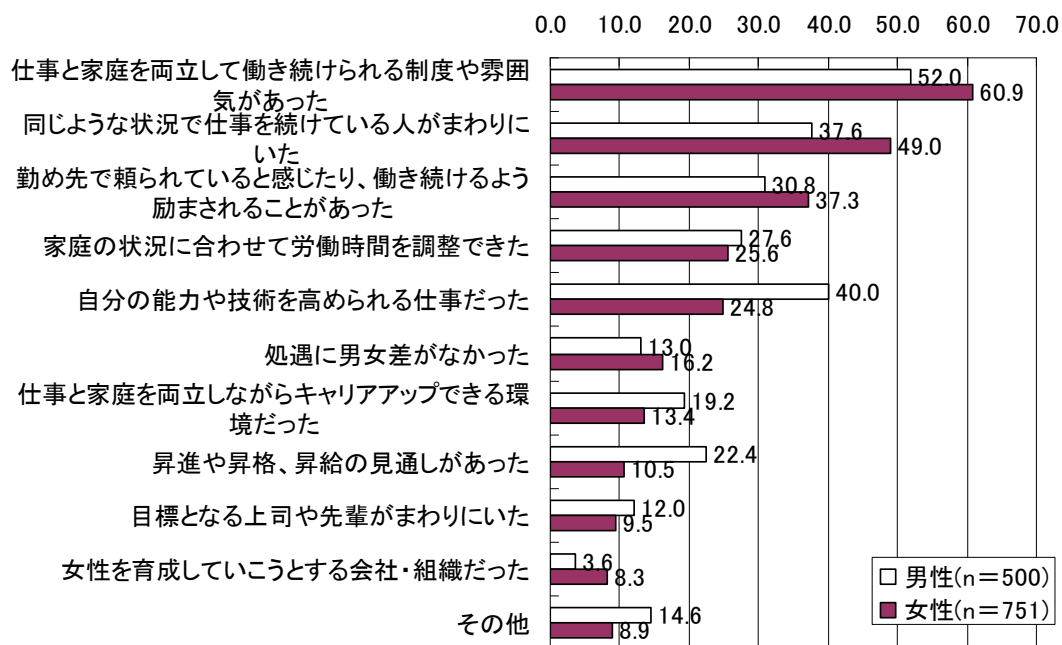
※ 「Q6-6A. あなたが結婚の際に勤め先を辞めなかったのはなぜですか。(MA)」の回答から、「その時は自分が働いていなかったから」を選択した人及び無回答の人を除いて作成

※ 複数回答のため、下線の選択肢のいずれかを選んだ回答者の人数は、各選択肢を選んだ回答者数の合計とは一致しない。

2 結婚の際の就業継続の理由(仕事に関連したもの)

- 勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境である、または家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事である、と思った理由は、男女とも「仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気があった」が最も多い。
- 女性についてみると、次いで「同じような状況で仕事を続けている人がまわりにいた」「勤め先で頼られていると感じたり働き続けられるよう励まされることがあった」となっている。

○ 結婚の際の就業継続の理由(仕事に関連したもの)[複数回答]

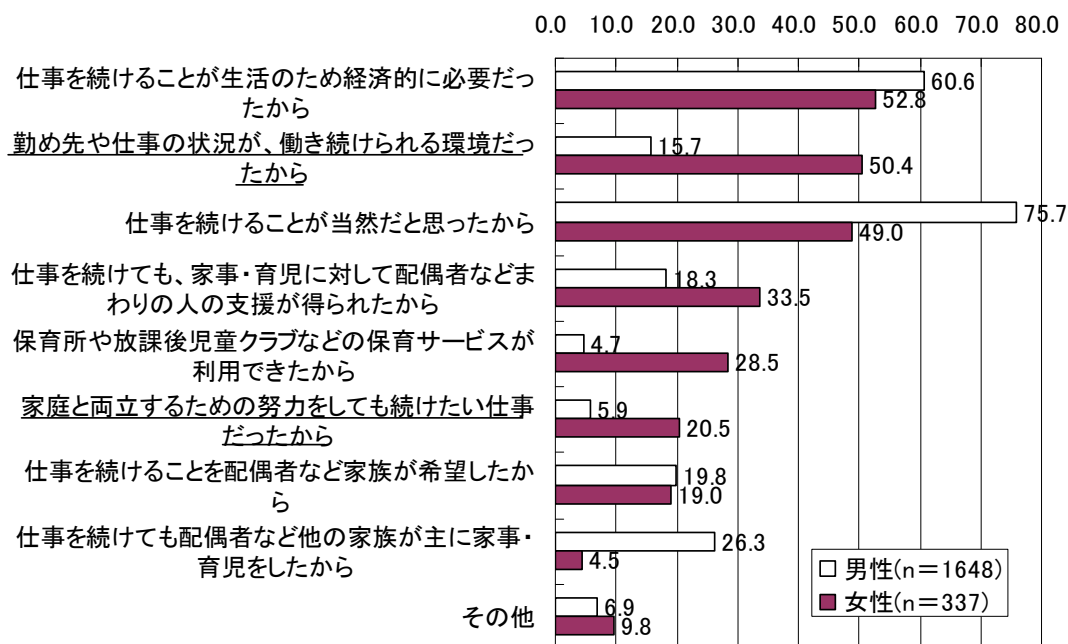


※「Q6-6ASQ1. あなたが結婚の際に勤め先を辞めなかった理由として、勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境である、または、家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事である、と思ったのはなぜですか。(MA)」に対する回答

3 妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由(一般)

- ・ 妊娠・出産・子育ての際に勤め先を辞めなかった理由を女性についてみると、「仕事を続けることが生活のため経済的に必要だったから」が最も多い。
- ・ 次いで、「勤め先や仕事の状況が働き続けられる環境だったから」「仕事を続けることが当然だと思ったから」となっている。
- ・ 仕事の状況に関する理由(「勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境だったから」、「家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事だったから」のいずれか)を挙げた人は、女性で 186 人・55.2%(男性は 272 人・16.5%)となっている。

○ 妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由(一般) [複数回答]



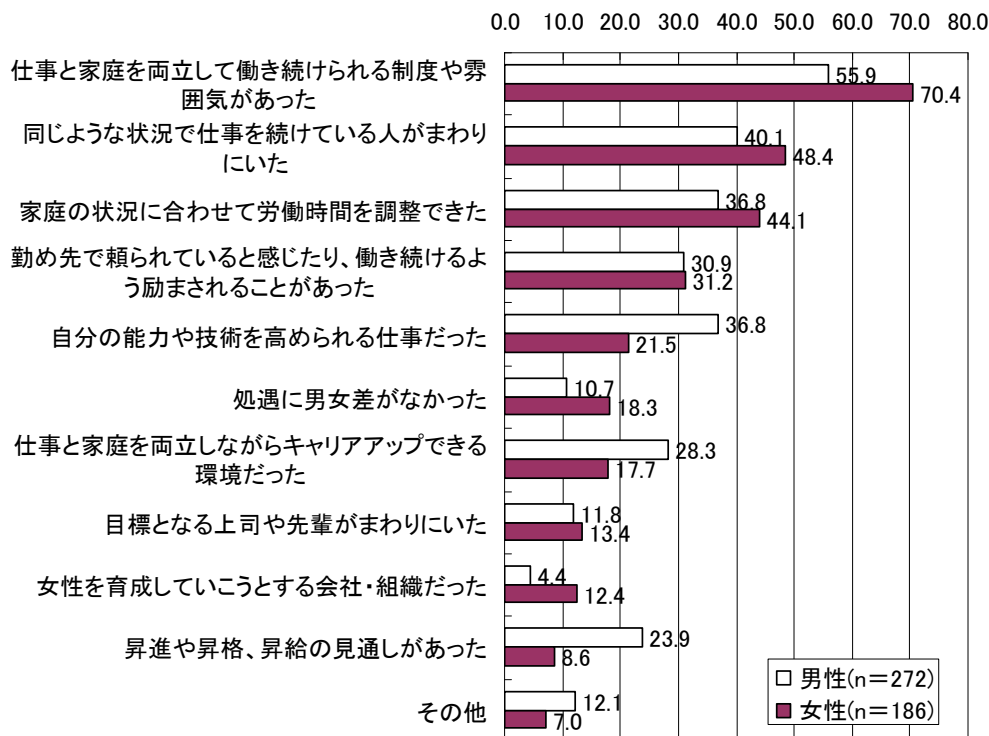
※ 「Q6-6B. あなたが妊娠、出産、子育ての際に勤め先を辞めなかったのはなぜですか。(MA)」の回答から、「その時は自分が働いていなかったから」を選択した人及び無回答の人を除いて作成

※ 複数回答のため、下線の選択肢のいずれかを選んだ回答者の人数は、各選択肢を選んだ回答者数の合計とは一致しない。

4 妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由(仕事に関連したもの)

- 勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境である、または、家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事である、と思った理由をみると、男女とも「仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気があった」が最も多い。
- 女性についてみると、次いで「同じような状況で仕事を続けている人がまわりにいた」、「家庭の状況に合わせて労働時間を調整できた」、「勤め先で頼られていると感じたり働き続けられるよう励まされることがあった」となっている。

○ 妊娠・出産・子育ての際の就業継続の理由(仕事に関連したもの) [複数回答]



※「Q6-6BSQ1. あなたが妊娠、出産、子育ての際に勤め先を辞めなかった理由として、勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境である、または、家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事である、と思ったのはなぜですか。(MA)」に対する回答